

## 令和6年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修委員会議事要旨

日時： 令和6年6月3日（月）～6月25日（火）

方式： メール書面会議

### [出席] 11館

鹿児島大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、志学館大学、第一工科大学、  
鹿児島純心大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島純心女子短期大学、  
鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島工業高等専門学校

### 議事

#### 1. 委員長、副委員長及び書記の選出

委員長は鹿児島純心女子短期大学、副委員長に鹿児島純心大学、書記は志学館大学が選出され、承認された。

#### 2. 令和6年度活動方針及び事業計画について

##### (1) 令和6年度 研修会・講演会について

- ・例年通り研修会、講演会を実施することで了承された

##### (2) グループ研究会について

- ・昨年度グループ研究会の応募がなかったため、今年度の活動は行わないことが確認された。

##### (3) 県外研修への補助について

- ・今年度も例年通り募集することが了承された。
- ・予算は前年度の残額 55,580 円（過去の補助金額は1件当たり約3～5万円）
- ・「鹿児島県大学図書館協議会の県外研修への補助に関する申し合わせ」（実施期間）第1条の実施期間において、「令和3年度から令和5年度の3年間」が満了したことを受け、「令和6年度から令和8年度の3年間」へ実施期間を修正し、予算が尽きた際に検討することで了承された。

### 3. その他

委員長、副委員長、書記の選出方法について、以下の事由により、今年度の役員選出が難航したため、今後の選出方法を検討した。

- ①近年はメール会議が主となり、立候補者がいない場合、委員長は代表館、副委員長に副代表館、書記は次年度の副代表館へ依頼していた
- ②副委員長と書記の選出方法については、過去に申し合わせがない
- ③次年度の副代表館は、研修委員会、広報委員会の両方から書記の依頼があるため、2年連続で両委員会の役員を担うことになり負担が大きい

審議の結果、委員長の選出は平成27年度の申し合わせの通りとし、副委員長と書記のみ選出方法を検討するということが全館で合意された。委員長と書記に関しては、代表館または副代表館が担うことで、ほとんどの館が一致していたが、副委員長に関しては意見が分かれた。したがって、今後の役員選出について、役員の選出が難航する場合は以下の方法で選出することが了承された。

- ・委員長：代表館または副代表館  
(平成27年度第36回総会議事要旨(6)の申し合わせの通り)
- ・副委員長：委員長を担っていない代表館または副代表館、もしくは次年度の副代表館
- ・書記：委員長を担っていない代表館または副代表館

※該当年度の代表館、副代表館において、副委員長と書記の兼務が難しいと判断された場合、次年度の副代表館へ副委員長を依頼する。

#### [配布資料]

- ・令和6年度研修委員会委員名簿
- ・令和5年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修委員会議事要旨
- ・第44回鹿児島県大学図書館協議会総会議事要旨
- ・鹿児島県大学図書館協議会で実施された研修会・講演会テーマ
- ・鹿児島県大学図書館協議会会則
- ・鹿児島県大学図書館協議会研修委員会規程
- ・鹿児島県大学図書館協議会グループ研究会細則
- ・鹿児島県大学図書館協議会の県外研修への補助に関する申し合わせ
- ・鹿児島県大学図書館協議会の県外研修への補助に関する選定基準